



四小だより

令和6年12月25日号 No.13

いちよう

山形市立第四小学校
校長 樋口 潤一

<児童数 189 名>

〒990-0055 山形市相生町4番37号 TEL 623-6019 FAX 633-9321

2024年 支えていただき、ありがとうございました！

—「自立した学習者」の姿が、たくさんの方に感銘を与えています！—

12月5日（木）に、「令和6年度公開研究会」を開催し、1年生の算数「かたちづくり」と、5年生の総合的な学習の時間「米粉広め隊～、もっと知りたい、米粉のこと～」の2つの授業を公開いたしました。山形市はもとより、県内外の各地から、たくさんの先生方が参観していただき、本校の子どもたちが学ぶ姿を見て、「一人一人すべての子どもが、自分の学びたいことを明確に意識し、自分がめざすところに向かって見通しをもって学び続けている姿に感銘を受けた」、「子どもたちの主体的に学ぶ態度が育つ授業だと感動しました」と感想を述べてくださいました。

また、12月18日（水）に本校で実施した「五中学区校長会」（五中、三小、七小、九小、四小の校長が集まり情報共有・協議等を行う会）で、本校のすべての学級の授業を参観していただいた時も、「公開研究会で見せていただいた1年生と5年生だけでなく、すべての学級のすべての授業で、子ども一人一人の存在が大切にされていて、『自分が何を学びたいのか』、『これから自分がどのように学びを進めていくのか』を明確に自分の言葉で語れる子どもたちの姿を見て、四小の先生方がどのような教育を目指しているのかをはっきりと知ることができた」、「『歴史好き？』と聞いたら、『歴史大好きです！』と答える子どもに感動した」など、嬉しい感想をいただきました。

たくさんの先生方から価値を見出していただいたとおり、私たちは「自立した学習者」を育てたいという願いをもち、それを実現するための授業や教育活動はどうあればよいかを議論し、日々試行錯誤を重ねています。一人一人の子どもがそれぞれの「学びたいこと」や「解決したい問題」を明確にもち、「どこから・どのように学んでいくか」という道筋を選択したり、難しい問題に出会ったら「どうすればこの問題を解決できるか」と知恵を絞ったり友だちと話し合ったりして追究し続けていく…こうした意志や態度こそ、未来を生きる子どもたちに必要な「学ぶ力」だと私たちは考え、研究と研修を続けています。ここまでお読みいただきお気づきかと思いますが、私たち教師も子どもたちも、思いや願い（志）を実現するために学び続ける「同志」だということです。

本校の先輩方も、「はじめに子どもありき」を合言葉に、「学校づくりの中心に研究をすえた学校」として、目指す授業や教育活動を実現するために、脈々と研究・実践を続けてこられました。私たちも、その精神を受け継ぎ、未来を生きる子どもたちにとって必要な資質・能力を育てる努力を重ねています。その私たちの思いを深く理解していただき、いつも温かく支えてくださっている保護者の皆様に、あらためて感謝を申し上げます。2024年も、本当にありがとうございました！よい年の瀬をお迎えくださいますよう、心より祈念申し上げます。（※裏面もご覧ください）

↓ 1 年 生 算 数 「かたちづくり」



↓ 5 年 生 総 合 「米粉広め隊 ~もっと知りたい、米粉のこと~」

